

広報

がまいし

お知らせ版

橋野鉄鉱山 世界遺産登録 5周年



決定を祝って行われたくす玉割り
(平成27年7月6日)



橋野鉄鉱山 一番高炉跡

橋野鉄鉱山を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は平成27(2015)年7月にドイツで行われた第39回世界遺産委員会で世界遺産への登録が決定し、今年で5周年を迎えました。遺産は全国23力所(8県11市)から構成され、幕末から明治期の日本の急速な近代化を示す歴史的価値が認められたものです。

市では、今後も鉄の歴史を調査・保存し、広く活用していくとともに、適切に後世に語り継ぐ取り組みを行っていきます。また、広報がまいしの15日号に隔月連載中の「釜石の歴史よもやま話(釜石の鉄学編)」では、さらに詳しく鉄の歴史を掘り下げていきます。あわせてご覧ください。

「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録 5周年記念展示 in 橋野鉄鉱山

橋野鉄鉱山の世界遺産登録までの経緯やその後の活動に関する資料などを展示します。

開催期間 7月3日(金)～8月17日(月) 9時30分～16時30分(期間中無休)
場 所 橋野鉄鉱山インフォメーションセンター
展示内容 世界遺産登録に関する資料／橋野鉄鉱山に関する資料

問い合わせ 市世界遺産課 ☎22-8846

世界遺産 橋野鉄鉱山のあゆみ

1856 (安政3) 年	大島総左衛門(のちの高任) 水戸藩那珂湊反射炉にて大砲鑄造成功
1857 (安政4) 年	大島が甲子村大橋(釜石市第1地割)に高炉を建設し、磁鉄鉱を原料とした連続出鉄に成功
1858 (安政5) 年	盛岡藩が大島の指導で橋野に仮高炉を建設し操業に成功
1860 (安政6) 年	田鎖仲が一番高炉完成(翌年には二番高炉も)
1864 (元治元) 年	仮高炉を改修し、三番高炉に
1866 (慶応2) 年	大迫銭座開業(橋野鉄鉱山の銑鉄で鑄銭)
1867 (慶応3) 年	栗林銭座開業(橋野鉄鉱山の銑鉄で鑄銭)
1868 (慶応4・明治元) 年	橋野鉄鉱山に銭座を併設 戊辰戦争にて盛岡藩降伏、橋野鉄鉱山が小野権右衛門経営となる
1869 (明治2) 年	鑄銭が禁止される
1871 (明治4) 年	江刺県に銭の密鑄について検挙され、一番・二番高炉が廃炉になる 経営者が小野権右衛門から瀬川清兵衛になる
1872 (明治5) 年	小野組が経営に参加 明治政府お雇いイギリス人ゴッドフリーが釜石周辺鉱山を調査し、良鉱山と報告
1873 (明治6) 年	明治政府、大橋・橋野・佐比内・栗林の4鉱山官行指令
1874 (明治7) 年	官行は大橋のみとし、釜石に製鉄所建設を決定
1880 (明治13) 年	官営釜石製鉄所開業
1882 (明治15) 年	官営釜石製鉄所廃止が決定
1883 (明治16) 年	瀬川清兵衛没、清次郎が事業継承

1886 (明治19) 年	釜石製鉄所に高橋亦助らの尽力により49回目にして高炉操業に成功
1887 (明治20) 年	田中長兵衛が官営釜石製鉄所の払い下げを受け、釜石鉱山田中製鐵所創業
1892 (明治25) 年	瀬川清次郎、高炉場を渋谷善兵衛に売却(鉱区はそのまま)
1894 (明治27) 年	釜石鉱山田中製鐵所が橋野鉄鉱山を買収 高炉場を閉鎖し、採掘場は青ノ木鉱床として継続。栗橋分工場の操業を開始
1957 (昭和32) 年	橋野高炉跡が国指定史跡となる
1979 (昭和54) 年	橋野高炉跡および周辺を市有地として払い下げ 青ノ木グリーンパークとして整備
1984 (昭和59) 年	アメリカ金属協会からヒストリカル・ランドマーク賞を贈られる
2009 (平成21) 年	橋野高炉跡が世界遺産暫定リストに掲載の「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産に選定
2010 (平成22) 年	市役所内に世界遺産登録推進室を設置
2013 (平成25) 年	旧釜石鉱山事務所が国登録有形文化財(建造物)に指定 橋野鉄鉱山インフォメーションセンター開所
2014 (平成26) 年	橋野高炉跡北側が追加登録される
2015 (平成27) 年 7月	橋野鉄鉱山 世界遺産登録決定
2016 (平成28) 年	台風第10号(岩手県に初上陸)により被害を受ける
2019 (令和元) 年	橋野鉄鉱山インフォメーションセンター入館者10万人達成